

## 提 案 概 要

(北九州市平尾台自然の郷 指定管理者)

団体名： ハートランド平尾台株式会社

### 1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
<p><b>理念</b></p> <p>「自然の中で、人と人が触れ合う」をモットーに、平尾台全体の総合管理と地域振興</p> <p><b>基本方針</b></p> <p>地域との連携による地元観光資源の機能充実を図り、グラウンドワークを活用した手作り公園化の推進</p>
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
<p><b>人的基盤</b></p> <p>スタッフは自然保護について見識を持ち、日頃から地域住民・平尾台関連団体・地元企業等と緊密なコミュニケーションを図っている、社員補充時は、地域住民・北九州市OB・地元企業OBや平尾台のボランティアなど幅広い分野から、業務内容に適した人材を雇用している。</p> <p>また、スタッフとして若い人材を採用して安定した事業継承を推し進めることとする。</p> <p><b>財政基盤</b></p> <p>当社は資本準備金が潤沢で借入金がなく、自己資金で運営が可能である。</p>
(3) 実績や経験など
<p><b>実績・経験</b></p> <p>「平尾台自然の郷」の開園準備以来19年間に亘り運営をしており、「平尾台自然観察センター」についても平成12年より19年間経験している。また、両施設の運営を連携させ、並行して行なっており、地域住民・企業を含め平尾台全体を熟知し把握している。</p>

### 2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
<p><b>管理運営における8つの柱</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>着地型観光施設としてのソフトの充実 新たな顧客層開拓に向けて、魅力的なソフトづくりを行なう。</li> <li>地域との連携による地元観光資源の機能充実 地域ぐるみの協働イベントの実施による地域の活性化、3つの観光鍾乳洞の活用推進、地元工芸品・農産物によるゲストのおもてなし等を行なう。</li> <li>グラウンドワークを活用した手づくり公園化の推進</li> </ol>

ガイド事業の充実やボランティア活動のなお一層の拡充を図る。「環境体験コース」の更なる整備を行うと共に各種イベントを誘致する。

4. 自主事業の強化の提案

草そり場及びBBQ 広場を新設する。

5. 既存コンテンツの充実

各種体験教室及び講座を見直し、充実させる。

6. 屋内施設の有効活用

屋内施設のキッズコーナーを拡充すると共に、平尾台紹介コーナーや写真等各種展示場を設ける。

7. 植栽の充実

ボランティア個人グループの協力により、園内に自生する平尾台らしい野草を用いて、一年を通して来園者に自然に触れる機会を設けると共に環境保存を行う。

8. 地域の防災拠点としての機能強化

災害発生時に孤立化した場合、地域住民及び来場者に対し食糧・生活用品の供給や避難所の提供等による地域の防災拠点としての機能強化を図る。

**目標入場者数**

最低限度の要求水準は275千人であるが、人口推移を鑑みながら前記8つ柱を基に目標入場者数を、5年間平均280千人を確保することを目標とする。

(2) 利用者の満足度

1. 快適性の向上

安全・安心・きれいをモットーに維持管理をすると共に、避暑対策を講ずる等サービスの向上に努める。

2. アンケート調査の実施

利用者のニーズ把握のため、毎年300～500件以上回答を得ている。  
過去平均99%の満足度であり、今後も99%以上を目標とする。

3. 利用者からの苦情

苦情は利用者からの期待の表れであるという認識で迅速かつ丁寧な対応に努める。

4. 利用者への情報提供

ホームページをリニューアルすると共にチラシ・DMを活用し情報を発信する。また、SNS等を活用した情報提供の充実・強化を図る。

**【効率性】に関する取組み**

(1) 指定管理料及び収入

**入場料の徴収**

平尾台は、厳寒、猛暑、高地における濃霧や雷の発生など、来場者数は天候に大きく左右される環境である。

様々なイベントを企画して想定通りの入場者確保が困難なことから、想定入場料収入とランニングコストを総合的に勘案した結果、入場料徴収は行わないこととする。

#### 収入増

草そり場及びBBQ広場を新たに開設すると共に事業の見直し等による収益を、集客アップのために広告宣伝費やイベント費に積極的に投資することにより駐車場料金や飲食物販事業の売上増を図る。

#### 経費節減

デマンド計を設置しピーク電力を監視し電気料金を抑制するなど、徹底的なコスト削減を図り、最低限の経費で当施設を運営している。開園後15年経過していることから、施設・機器・その他備品等の老朽化に伴い修繕費用が嵩んでいくと見料されるが、入場者の安全確保に努めながら、今後も削減努力を続けて行く。

#### (2) 収支計画の妥当性及び実現可能性

駐車場料等は、平成30年度収入見込み額を計上するものの、条例改正に伴う改訂としてキャンプ場及びステージ使用料は1.5倍として計上している。

人件費アップ等を勘案し、施設管理業務の機械化を積極的に推進する。

#### 【適正性】に関する取組み

#### (1) 管理運営体制など

総務部長並びに運営部長以下、管理責任者を配置し管理体制を部署ごとに定めた施設運営を行なう。また、少数精鋭で適材適所の人員配置による管理運営にあたる。

#### (2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

1. 個人情報保護法等に沿って、運営マニュアルに定めた個人情報保護規定を遵守する。
2. 公の施設であり、常に平等かつ公平・公正な取扱いによる快適な管理運営を行う。
3. 平尾台の地理的条件を十分考慮した、行政機関との緊密な連絡体制を確立する。
4. 日常点検により危険を予知し、未然に事故の危険要因を除去する。
5. 災害が想定される場合には、配備計画による初期対応を行うと共に、事件・事故の場合、関係機関に通報する。

#### 提案額（千円）

31年度	指定管理料 154,245千円
32年度	指定管理料 154,245千円
33年度	指定管理料 154,245千円
34年度	指定管理料 154,245千円
35年度	指定管理料 154,245千円

※提案概要は、提案書の内容を2枚程度（A4）にまとめてください。